



和漢俳諧集序

或云漢和俳諧也者上古仲麇與
唐人詩歌贈答之遺風也未知其
當否也近世行于世體格備而殊
有風致矣暮雨蒼人心深好之歟
會同社以止為樂人或得對句之



工者則即美之以臧筐積而成卷
令也上出梓示同好之士耳世出
文人寸亦勿以為咲焉
文政庚寅閏三月 中央花央撰



和漢俳諧集

春

初旭玉無類

雨耕

春穗三芝秀

雨席

何るもあそびまふまじりて哉

士朗

はまやうよまきと何〜と哉 卧央

うふやうおもてあけと福壽州 甫友

福壽草英如小粒 風荷

破魔弓的似文錢 全

門松の根よまきとちや窮親子 旭湖

明先了日のあう車睦月哉 碓嶺^{江戸}

井垣や潮は〜 梅の義 楚山

洲の付と川尾飛さし梅の屯 鳳臺

見るよりも思ふふきろき 野梅哉 旭松

建替る六と二間う免のもれ 琴丸

棋^{サイテ}開頻急^キ普請^シ企^ラ 對峨

桃^{コノミ}綻必^ツ披^{ヒラカ}嫁入^ハ慶^{ヒラ} 全

100

曾洛

全

妻のきとく 柳ハきとく 梅白 三 和樂

馬を免る見之門乃極
う南曾谷父素雄

多摩川も家も多摩川
呑湖の水其洞

麻少家の首をさむ
櫛う家其白

善學也
頃子抑
合運
馬
九山

若艸漸醒
每醉
春水

鷓鴣ニ
 頻ニ
 催ス
 馬ノ
 眠一
 全

新風のそよめり
花のそよめり

花央

士
裔

蒼居

廣材

東字

花夾

全

雨耕

全

而右

蘭岱

廬月

春山人語コエ 臘オホロナリ

布泉

霞塾カスカナリ 竹 幽

全

一日水うりうりやうり 厚京 布雪

雁歸ル 万歳ハ 鄉ニ 春米キ 寸虹

蝶舞ハ 少兒ハ 庭ニ 拾フ 椿ヲ 全

招レ 蝶ヲ 栄光ヲ 燭 松年

急のあま所々々々 胡蝶哉 其洞

まゝ天や蝶の夢終り 町々々々 汲正

まゝふのうううううう 志々々々 神様 子温

一雨ふふ 極見をうり ちんちん 九魯

桜の間はあゝるも話一 初桜 途桂

緑交花裏坂 青岱

おちけきめきし小き様哉 里有

又よりぬ日も花の氣の屈りり 真一

咲出^ル木華^ハ樺^{カハヤクニ} 梅咲

湧^ル流自水泉 全

山も水もあけろ花見うあ 竹水

親材も見し考おの様哉 橘青

念入る見れはちあり秋のち 大^ウ宇洋

花あつ山もハ春の夕アう南 已涼

澤春望

落花交^ル雨^ニ佐屋廻^{ハリ}途^リ旅客^澤 埜^ニ狂

残月^{オホハル}蔽^ニ霞^ハ素名渡^{ハダ}海^リ船人^ニ 全

咲もしするもあき様 龍士

連俳定^{アリ}月花^ニ

騏上

仁智^ハ樂山^ム水^ヲ

九山

生^ニ辭^ハの^ハけ^ハる^ハ月^ハ夜^ハ哉

糸竹

曉^ハの^ハ丁^ハ背^ハ戸^ハや^ハ桃^ハの^ハ葉

梅丘

忌^ハ霜^ハ猶^ハ覆^{オホヒ}春^ニ艸^ヲ

蒼居

殘^ス雪^タ未^エ消^ニ暮^ニ山^ニ

全

月^ハ不^ハ流^ハ雪^ハの^ハ白^ハさ^ハる^ハ凡^ハ中^ハ二^ハ扇^ハ

お^ハせ^ハる^ハや^ハ燒^ハき^ハの^ハ跡^ハの^ハ枯^ハ草^ハ旭^ハ山^ハ

山^ハの^ハ身^ハの^ハ又^ハも^ハハ^ハま^ハ一^ハ重^ハ保^{三羽}舟^ハ

嵐^ハ藤^ハ揚^ハ舞^ハ手^ハ梁^ハ甫^ハ

秋^ハの^ハ子^ハを^ハお^ハる^ハ門^ハや^ハ藤^ハの^ハ花^ハ沂^ハ遊^ハ

天^ハ氣^ハ過^ハる^ハ花^ハの^ハ又^ハも^ハハ^ハま^ハの^ハ春^ハ孤^江山^ハ

夏

志んちりやあふふふふふ 袷哉 秀外
扇をさするおのゝあなすけや時ふ蕉鹿
川あふの出ふふふふふ 三州 榊老
氣あふけのするやあふの郭ふ一夢

蜀魂 翁寐耳^{ウカチ}

其詞

このあふ鬼ふふふふ 牡丹哉 學圃
石壇能足音あふふふん哉 芝生
ふふふふふふふふ 牡丹哉 武貫
夜の雨の時ふふふふ 牡丹ふ蝶二
古ふあふを苦ふする庭のふふふふ^京 蒼虬
雨ふふや山水ふふふふ^同 十丈

也有翁

宇仙

青岱

曾洛

花央

全

京
凡
乙

湖
龍

楚岳

宜彦

梅間

牙^ハ龍^{リウ}との事^{コト}れ^レ歩^フ活^{ツク}き^キ暑^{ナツ}う^ウあ^ア 澤 楚^ソ狂^{キヤウ}

藻^ソの蠅^{ロウ}の^ノい^イく^クも^モ来^キり^リ 揖^{イツ} 枕^{シン} 楚^ソ山^{サン}

す^スく^クも^モ也^ヤ月^{ツキ}も^モ若^{ニギハヤヒ}き^キも^モ松^{マツ}と^ト也^ヤ 如^ニ水^{スイ}

凉^{リョウ}真^{マコト}中^{ナカ}有^{アル}月^{ツキ} 楚山

湖^{ミヅウミ}一^{ヒト}面^{メン}無^{ナシ}塵^{ジン} 全

凉^{リョウ}く^クも^モ也^ヤ一^{ヒト}里^リ程^{テイ}来^キる^ル疾^{ハヤシ}の^ノ明^{アカリ}る^ル 景^{ケイ}雨^ウ

木^キの間^{ノミ}も^モ目^メう^ウけ^ケふ^フも^モ 凉^{リョウ}哉^カ 沙鷗

眠^{ネム}凉^{リョウ}驚^{オドロク}蹄^ヒ 漱石

す^スく^クも^モ也^ヤ合^{アヒ}四^シ條^{ジョウ}河^カ京^{キョウ}哉^カ 咲^{サキ}菊^{キク}

夕^{タタミ}立^{タツ}や^ヤ牛^{ウシ}ハ^ハ夕^{タタミ}目^メの^ノ渡^{ワタリ}井^イ 濃州 巴圭

あ^アふ^フき^キを^ヲ歩^フふ^フ牛^{ウシ}れ^レ歩^フり^リ 里祐

衆^{シュウ}の^ノあ^アく^クハ^ハつ^ツき^キを^ヲあ^アの^ノ 活^{ツク}所^{トコロ} 不^フ轉^{テン}

とめきと顔とみきぬや蓮の主 挑鳥

池ニハノスル載艸車走ヲ 曾洛

嶺ニハノリテ乘皇鳥キミニ凡トナリ 司亭

下ちう里ミ荊山又へて風とる 大巢

梅子の雨眉やのほる茶け煙 友鳳

鳴の声ナ巢を出る時の一ちつと大津 古猿

秋

秋立蕉心冷 在江戸 烏ニ

阿さほふと陰道し小る哉 伏石

新顔のまけうけとまうれ 紫扇

底すもや星斗ある天け川 楚雀美濃神戸

井の糸の伏あ乃燈三洲吉田籠燈り赤守

夕空の所はあまれと秋の天 五道

花雪のふもふるふもふも 芒う南 ^{江州}月兮

暮たともちのさ日とありて 芒芒 秋良

解のさるも芒めくあり 秋のあり 洲路

血くおちく 川秋の義 陣冷

居風呂の焚火の川 芒秋の花 箕張

女唐の秋は安き道 秋芒 岳芝

闇夜花 花火 柯笛

^{ヒルナカ} 晝時 月 月 鋒 同

秋風の吹や都ふ川 花と 京世南

松子れ 秋と吹や秋の風 古次居

月ハあき 風とくら 秋とく 鳳臺

面白き云ふ月のきり入

頂_テ 西月

月今宵汝も終衣着る利

在江戸 烏_ク

満月連城價

美濃狐_ノ 自得

一瓢をあらはるもは月の仙 伏臺

榮ちきふ阿_ア月_{ツキ}りれ居るもの 五青

夕_{ツキ}宿更科月

澤 塾_{シツ} 狂

朝迷_ミ田毎霧

同

月_{ツキ}けの雲_{クモ}あつた田の_{ツキ}けり 同

立_タ明_ミやたつちよ_{ツキ}暁_{ツキ}る里の人 棠_{ツキ} 棣

約束を待_マぬも夜_{ツキ}や渡_{ツキ}る_{ツキ} 倍中

候_{ツキ}任_{ツキ}の店_{ツキ}や暮_{ツキ}さふの釜_{ツキ}い_{ツキ}ちり 朝_{ツキ} 甫

秋_{ツキ}の暮_{ツキ}さを_{ツキ}し_{ツキ}ぬの_{ツキ}弱_{ツキ}も_{ツキ}や_{ツキ}り 伊勢津 雲石

おしとせうおけと菊咲九月哉 大集

雀眠松菊徑 一仙

菊のあやうも日和の人出入 珂水

若嶺酒の泉やまづれ岩 梅芳

樓斟黄菊酒 棠棣

庭布丹楓 蕉鹿

よふをふと一とふふふふふ 江州土山 虚白

何のふふふふして居る藪の奥 一仙

古き表たててけつあるをみち哉 在江戸 梅室

葉紅彌日彌紅葉 曾洛

瀧白 瀧白 鷺珀

涙の朝うけ待やさるふ葉 左六

ハシチク コウフウク モクロカラス
竹 楓 雲

士情

シラン クハウキク ミツアヒヲナス
蘭 菊 水

曾洛

古木の松ヶけ沸く后の月

梅咲

出る形もあゝるあゝるの世

龍敬

うねる日ハ雨くさる十六夜

膳所 閑齊

りねるまゝの孫ぬ襦袢や遠石

曾洛

あゝや燈山は月細し

官之

しゝあや背中よ志る堂の漏

桂圃

曉や居所もあゝるの聲

和潮

朝も夕も中ゝとちやけく子供哉

白鷹

剪^{ラビ}蔓^{ラビ}土中^ラ傷^{ナフ}暮^{ナフ}蒨^ラ

典七

信^{ハコトミスレハ}心^ヲ来^レ世^セ坐^{ノホル}蓮^ニ華^ニ

曾洛

冬

鷓鴣窺_ラ水鉢_ヲ

芭蕉翁

蟋蟀蟄_{コモル}燈籠_ニ

謹續

曾洛

まじく寸あゝやちちの極木杵

三州岡崎

卓池

月高霜照_ス石_ヲ

旭湖

細霧やちち天よけくもの声

大津

春峯

霧の朝日さけや空をふくの暇

風荷

漢和之俳諧

霜威橋上冷_シ

曾洛

う水とそれふな蘆のうゝ声

花央

古笛迎_レ朋出_シ

雨耕

空瓢興_ニ客傾_ト

埜狂

ちる柳井戸あり月の湯あり
雨席

さきさきありけるゝの大法
雀十

絵やすえこきこきこきこき
漱石

竹齋寓下京
東宇

牛車牛牝ニ午睡ラ
騏上

鳳輦イヨカサリ轟ニ鷄鳴ニ
旭湖

きく蓮のちり涼きききき
其洞

あふきあつふ妹々目集
柯笛

冠ウヤミ共レ容ラ共ニ冠リ
花央

城ハ先レ月テ先ニ城ッ
曾洛

うらまの山のむら秋の風
埜狂

灰ききき草ちるやと
雨耕

葉きききよあきりる雨の岩
雀十

兩席

士
岳

廬月

旭湖

漱石

曾洛

花夾

雨耕

塾狂

東
宇

騏
上

柯
畱

霽タキキナ海山平なり

其洞

關守咳コタマ怪マ

廬月

尼前嚏モ佛名

士岳

三年余り都のちと余所へ天

漱石

耳ふあはるる里のうしろ寸

塾狂

醴酒歡ヒ花ハ晚ラ

柯笛

雨のいふふ華を耕

雨耕

右歌仙満尾

阿アあや艶エンる菜サイの實

得芝

日ハ清く笹の葉する時る哉

素友

歩行も仮橋長し北時雨

士圭

しるれさうな白いする也竹火箸

美濃綿織
月蒼

静さの世の底にある哀れ

大津 米友

きりきりきりきりきりきりきり

木天

名りのるるるるるるるるるる

勢州山田 省吾

紅楓彩雪日枝晚

卧不覺 寸龍

白鷺跨漣湖水冬

同

水るるるるるるるるるるるる

京 杜蓼

祢智子とすく子とるるるるるる

佳青

おあーや頼みおるるるるるる

文刻

掛羅鴨化鳥

岳芝

負棒成狸

日暮

同

月入るるるるるるるるるるるる

玉水

木るるるるるるるるるるるる

京 夙也

活舟の鯛針する小春

大津
宇洋

小雛よ抱人のとこ小春哉

市雀
橘堂

石落の花や馬の何さる卯うら

露門

桶ふせく茶うてり石落の花

一鳳

るの日や鯨さけて入菰の家

其竜

天鳴 盈玉霰

雲母和尚

覆道 鯨交電

美仙

顛門 馬碎氷

陸人

氷透 金魚錦

花央

をくもやさけ常も氷る中

審郷

おしりけ足臥せる馬うら

雪居

鴛似玉輝石

橘坐

灰寒爐見昂ル

兩耕

けりし坐ふのころる室うり南

大津
蕙布

糒ハクヤヒナ糒如雪

士岳

初雪童殊開シ

霍十

作山な雪の夢や萩の雪

芦犬

そり目代開く夜を雪の聲

橘臺

大雪や火々似るあるある

旭松

雪鳥如埃立

東宇

風鯨似寫奔ル

同

鯨羹僅一寸

兩席

糠買ら来りて風を釣や糠拂

雲母

おほやうに松の日けや雪の庭

曾洛

混雜

嵐山花もあつて屋敷で猿

曉臺

うみふもあつてといふ五田山

蕪村

齡延枕上廬生夢

曉臺

蝶舞机邊莊子魂

同

ちるむや木の石も猿人の身

江戸日野
士明

ちり口やあつて冷清清く様うな 雨耕

棟上の濡るちり出はきき哉 巨春

三日月ふ射しきき夕や哉 素川

秋もあや一輪満る花はきき 素川實父
昆明

葉の花やふもきききき 群雀 素川養父
徐英

山吹の志もあつて様うな 徐英父
都真

落るしつる花より合歌花 讃州 茂推

新月漂波影 雨耕

流弓大將軍

早薇延手勢 插臺

援鋌勇兵勲

鷲鷲人乃あは路の身 江戸 久藏

草堂迎墨客 半齋居士

室さのく雨よ衣ふ増り多ん 貸圃

梅う芳よのうぬ見えや破れ家 三洲寺部 青可

比るし月待名の柵うあ 黙鳥

紫野近丹波 白川 一句付師

白川隣黒谷 一休和尚

高峯、雪、奪山邊、眼

翦燭齋

明浦霧、粘柿本鬚

同

海鼠形、淡路島

已丸

藻虫、調須磨琴

白鷹

ふもやもつゝ水、網のき

軟石

ふのふろゝ遠する、秋丹

芦風

あまもく、あふあふも、常哉

圓岳

とろろのぬれも、しる、呼、螢

賢二

面、あふ、雲のよう、い

蘭夕

能、の、た、あ、や、不、二、の、山

立峯

掌、富士山、照毛、技鏡、於、轎中、曾洛

思、吾妻路、披、記念、文、于、閨、裏、同

湖のまやまきくさるる

帝梅

月多き世のなまの雲の客

常石

秋のやほれ笑するの秋の州

遠州
木甫

ぬれぬきあつたとき

印緒

狐玉尾
鮎肢

曾洛

あつたときあつたとき

路のくさるる枯るる小村の

梅裡

紫荊和兄典第

蕉鹿

金釜救母兼兒

鳳岳

月のくさるるのくさるる

京
千涯

るあつた秋ははるる

撰大坂
井眉

湖のまやまきくさるる

帝梅

月あけきしなふ雪の空

常石

秋ぬやゆれ笑する萩の村

遠州
木甫

ぬれ〜あ〜さ〜る時哉

印緒

瓢箪
魚
胖
腮

羅人

あ〜ま〜し〜る〜る〜るのあ〜る白鷗

路のまらぬ枯らぬ小村の梅裡

紫荊和兄典第

蕉鹿

金釜救母兼兒

鳳岳

ほの月つるやのち度る京千涯

るあ〜や秋はけぬきる松のよみ井眉

撰大坂

ちくやさきものやまに 五道

たけをくふ氣味し海苔の味 巴流

あの花やさきもの余程歩行す 江戸護物

うさぎのふりやう 馬勒

花 榮 不老木 楚山

葉 茂 相生杏 曾浴



持主
橘堂

